

講義計画(シラバス)

復旦大学2014年

- 09/15 第一講 序論：「アジア共同体の創生」
講座の設置趣旨、全般の展開についての説明——徐静波氏
- 09/22 第二講 いま何故東アジア共同体か、その原点を考える
——鄭俊坤氏(ワンアジア首席研究員)
人間についての根源的な理解
個人 国家 国民の関係
ナショナル アイデンティティと地域統合
国民国家を超えて
- 09/29 第三講 東アジアから全アジアへ向ける(経済協力の視点から)
——樊勇明氏
東アジア地域の経済協力
東アジアと南アジアとの連動
中国、日本、韓国そしてアセアン、インドなどとの連携から
全アジアへ
- 10/06 第四講 「東アジア共同体」についての中国の構想
——石源華氏
運命共同体の共通性を強調
経済連携から政治の合作へ
文化の要因を最大限する
東アジア共同体のビジョン
- 10/13 第五講 東アジア民族間の和解と東亜共同体の構築
——胡令遠氏
歴史認識の開きを埋める

対話と外交交渉は領土問題解決の道
民間交流を活発化して共通認識を深める

- 10/20 第六講 アジア共同体の創成における異文化交流の役割
——蔡敦達氏

異文化をいかにして見るか
端午節の中日韓比較
相互尊重・理解・交流の重要性

- 10/27 第七講 「東アジア文化圏」は幻なのか
——徐静波氏

東アジア文化圏の歴史的な由来
東アジア文化圏の現状と問題点
伝統的東洋の価値観とユニバーサルの価値観との融合

- 11/03 第八講 アジア共同体の創生へ向かって
(中央アジア諸国と中国の関係を中心に)
——趙華勝氏

歴史的に中央アジア諸国と東アジアとの交流
中央アジア諸国と中国との経済的協力
中央アジア諸国と中国との関係の成り行き

- 11/12 第九講 アジア共同体創成における民間交流の役割
——蔡建国氏

アジア共同体構築における民間交流の重要性
民間交流の役割と限界
NPO、NGO 活動と民間交流

- 11/19 第十講 アジアの経済発展と協力 (産業再編を中心に)
——張浩川氏

アジアの経済成長と産業構造

中国の経済成長と産業構造の再編
経済成長とアジアの協力

11/24 第十一講 アジアの文化交流(文学作品の翻訳を中心に)

——施小炜氏

書物の翻訳は文化交流に不可欠の手段
日本の文学作品の中国語訳について
文学作品の翻訳を通してアジア諸国の理解促進への期待

12/01 第十二講 アジア伝統文化の継承(食文化を中心に)

——徐静波氏

アジア伝統文化の継承
中日韓の食文化の異と同
食文化を通じての相互理解

12/08 第十三講 インド・中国の立ち上がりとアジア共同体の創生

——杜幼康氏

BRICS 中のインドと中国
立ち上がりつつあるインドと中国がいかに付き合うべきか
中印関係のアジアへの影響

12/15 第十四講 戦後アジア経済の発展(東アジアの視点から)

——魏全平氏

戦後アジア経済の出発
日本の高度成長とNIEsの台頭
中国経済の発展とアジア経済との関係

12/22 第十五講 アジアの言語(日本語教育を中心に)

——龐志春氏

漢字 かな ハングル——中日韓言語の異と同
漢字を通じての相互理解ができるか

日本語教育の問題点

12/29 第十六講 アジア共同体の夢とビジョン

——佐藤洋治氏(ワンアジア理事長)

アジア共同体創成のためのビジョン

学生各自レポートを提出

実施全体計画（年次計画及び目標を含む）

今度は寄附講座「アジア共同体」一年目のプログラムで、まずは復旦大学の研究者の力を中心に、講義を着々と進めていくことである。アジア連帯意識の樹立、アジア共同体創生の意欲の強化などは今度の寄附講座の最大の目的である。講師が一方的に講義をするにのみならず、学生の能動性を喚起して教室の場で彼らに意見を発表させるようにと考えている。最後に、講座のテーマをめぐって聴講の学生に論文募集を行い、優秀論文の提出者に優秀賞と賞金を授与する。そのほかに、できれば小型のシンポジウムの開催や論文集の編集・出版なども考えている。要するに、「アジア共同体」講座の成果を次の講義や研究のステップにし、アジア共同体の創成に向かって、努力する次第である。

研究の期間 2014年9月—2014年12月

※記入欄が不足の場合は、別紙を添付してください。

(研助－3)

研 究 組 織

ふりがな 氏 名	所 属 研究機関名	職名及び 専門科目	経 歴			摘 要
			現在の主な研究	最終学校	卒業年次	
胡令遠	復旦大学国際問題 研究院日本研究セ ンター	教授、所長 国際政治	中日関係、文明 論、文化論	復旦大学大 学院	1991、07	代表者 (講座責任者)
樊勇明	復旦大学国際政治 学部	教授、学部長 国際政治経済学	東アジア経済論	大東文化大 学大学院	1994、03	
趙華勝	復旦大学ロシアと 中央アジア研究セ ンター	教授、所長 国際政治	ロシア、中央ア ジアと中国の関 係	南京大学大 学院	1986.07	
杜幼康	復旦大学南アジア およびパキスタン 研究センター	教授、所長 国際政治	南アジア諸国と 中国の関係	復旦大学	1983.01	
石源華	復旦大学国際問題 研究院韓国朝鮮研 究センター	教授、所長 国際政治	中国近現代外交 史、韓国朝鮮問 題	復旦大学	1975、07	
徐静波	復旦大学国際問題 研究院日本研究セ ンター	教授、副所長 中日文化関係、 中日文化比較論	中日文化比較論 近代日本人の中 国像	復旦大学大 学院	1988、07	
張浩川	復旦大学国際問題	副教授、副所長	中日経済関係	専修大学大	2004.03	

	研究院日本研究センター	企業経営論		学院		
魏全平	復旦大学国際問題 研究院日本研究センター	副教授 発展経済学	アジア経済論	筑波大学大学院	1998.02	
厩志春	復旦大学外国語学 院日本語学科	副教授、学科長 日本語教育	日本語教育、対 照言語学	復旦大学大学院	1986、07	
蔡建国	同済大学アジア太 平洋研究センター	教授、所長 国際政治	中日民間交流	Humboldt- Universita t zu Berlin	1990、02	
蔡敦達	同済大学外国語学 院日本学研究所	教授、所長 比較文化	日本文化論、中 日文化比較論	東京大学大学院	1994、03	
施小炜	杉達大学外語国語 学部日本語科	教授、学科長 日本近代文学	日本近代文学、 文学の翻訳論	早稲田大学 大学院	1996、03	

別紙(C)

(研助-4)

研究業績一覧表

最近発表した学術研究論文、学術研究著書を一人三編以内で、研究組織欄に記載された者ごとに、発表年次の順に記入すること。

注) 記入欄が不足の際は「論文リスト続き」(研助-4)を利用下さい。

著者名	学・協会誌名 (巻、頁、年を含む)	発表論文名(研究著書名)
-----	----------------------	--------------

胡令遠	1、時事出版社2003年 2、香港大学國際シンポジウム論文集 2008年 3、遼寧大学『日本研究』2008年	『東アジア文明の共振と発展』 「東アジアにおける民族和解のルートについて」 「東アジアにおける民族和解について—文化からの思考—」 「日本經濟復蘇和東亜合作」 「探索國際關係中的政治經濟互動機制」 《公共經濟學導引与案例》(編著)
樊勇明	1、《日本学刊》，2004年第6期 2、《世界經濟与政治》，2005年第3期 3、復旦大学出版社，2003年10月	《上海合作组织：评析和展望》 《中国的中亚外交》 Central Asia: Views from Washington, Moscow and Beijing. (Co-authored with Eugene Rumer, Dmitri Trenin)
趙華勝	1、时事出版社2012 2、时事出版社2008 3、M.E. Sharpe, INC. New York. April. 2007.	「劳伦斯·萨默斯的“孟买共识”评析」 「略论中印两国同时崛起的地区影响和国际意义」 「美国的南亚与中亚“整合”战略剖析」
杜幼康	1、《美国研究》，2012年第3期 2、《南亚研究》，2012年第4期 3、《现代国际关系》2007年第4期	「留美帰国学生与国民職業外交家群体」 「中国对于朝鮮半島和平構造的基本立場」
石源華	1、《復旦學報》(社科版)2007年第4号 2、宇野重昭等編《从日本、中国角度看朝鮮半島問題》所収，國際書院，2007 3、世界知识出版社，2007，北京	《中韓文化協會研究》(主編)
徐静波	1、《深圳大学學報》(人文社科版)2008年第1期 2、上海人民出版社，2009年 3、上海人民出版社，2014年	「亜州主義思维与現今的東亜共同体建設——以中日關係為軸心」 《日本飲食文化：歷史与現實》(著書) 『近代日本文化人与上海(1923-1946)』(著書) 『中国中小企業の挑戦』、 『日本留学指南』
張浩川	1.森山书店2005年 2.復旦大学出版社2012年 3.《日本研究》2010年	「中日エネルギー戦略決定メカニズムの比較研究」 「亜州国家經濟開發戰略的變遷」
魏全平	1.《亚洲经济的第三次浪潮》所収、上海三聯書店(1993年10月) 2.『日本学刊』(香港)第3号(1999年4月) 3.『深圳大学学报』2008年第1期	「日本におけるアジア太平洋地域經濟研究に関する学説の考察—アジアNIEs論を中心に」 「东亚经济一体化过程中的中日 FTA 战略比较研究」
龐志春	1、《日本学研究》2008年号所収，上海外語教育出版社 2、《日本学研究》2009年号所収，上海外語教育出版社 3、《日本語教育与日本学研究》所収，華東理工大学出版社，2010年	「上海市通訳資格試験に関する一考察」 「中国語の動詞述語の語順とその翻訳について」 「中国語と日本語の間」
蔡敦達	1、《日本学研究》華東理工大学出版社2009，上海 2、《日語教育与日本学研究》華東理工大学出版社，2010，上海 3、華東師範大学出版社，2011，上海	「日本節慶初論」 京都祇園祭及其中国元素 《新日本人論十二講》(訳書)
蔡建国	1、上海社会科学出版社，2006，上海 2、同濟大学出版社，2008年，上海 3、同濟大学出版社，2010年，上海	《21世紀的東亜：機遇、挑戰与創新》(主編) 《東亜和平と發展》(主編) 《東亜合作と交流》(主編)

(論文リスト続き)

(研助-4)

著者名	学・協会誌名 (巻、頁、年を含む)	発表論文名(研究著書名)
-----	----------------------	--------------

施小炜	1. 南海出版公司2009年 2. 南海出版公司2010-12年 3. 南海出版公司2011年	村上春樹『走ることについて語るとき僕の語ること』の中国語訳 村上春樹『1Q84』第一部～第三部の中国語訳 川上弘美『先生のかばん』の中国語訳
-----	---	--

別紙(D)

(研助-5)